

第14回 ハーバード特別講義

2026年1月

一般参加者募集
(科目等履修生・聴講生)

第14回を迎える、帝京大学恒例の特別講義です。
本学の学術提携校であるハーバード大学から4名、
オックスフォード大学1名の教授をお招きして
公衆衛生の基本5領域の集中講義を行います。
現地さながらの授業を、ぜひ帝京で。

公衆衛生の基本5領域 1科目 90分×8回の集中講義



Murray A. Mittleman



Jaime Hart



← 詳細は、帝京SPHホームページにてご覧ください。

<http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~tspf/>

お問合せ

帝京大学板橋キャンパス 事務部教務課(大学院担当)

03-3964-7051(直通) gakui@teikyo-u.ac.jp



Ichiro Kawachi



Alastair Gray



David Wypij



帝京大学
Teikyo University

生物統計学 1月5日(月)~8日(木) 9:00~12:15



Harvard T.H.Chan 公衆衛生大学院および Boston Children's Hospital の准教授として、小児臨床研究と生物統計学に関する研究に従事し、縦断データ分析やワクチン効果モデリングなどの新手法を導入している。臨床研究では乳児心臓手術後の脳損傷や鎮静管理に関する臨床試験を主導し、また性的指向と健康リスク行動の関連性を調査する縦断研究や、アフリカでのマラリア研究における死亡率の解析などを行っている。

講義テーマ(予定)

1. Overview of Clinical Trials
2. Clinical Trial Designs and Protocol Development
3. Protocol Development Issues
4. Treatment Allocation and Blinding
5. Protocol Development, Biostatistical Considerations, and Manuscript Expectations
6. Sample Size and Power for Clinical Trials
7. Protocol Development Biostatistical Considerations
8. Some Practical Considerations and the Future of Clinical Trials

ハーバード T.H.Chan
公衆衛生大学院
David Wypij 准教授

環境産業保健学 8日(木)~11日(日) 9:00~12:15

* 初日のみ午後開催

Harvard T.H.Chan 公衆衛生大学院および Brigham and Women 病院の准教授として環境保健に関する研究に従事している。Nurses' Health Study などの大規模コホート研究を主導し、大気汚染物質、気温等が死亡や疾病罹患など、さまざまな健康に与える影響を分析し、多くの論文を発表。近年は、地理情報システム(GIS)を用いた環境評価とその健康影響の研究に関わっている。



講義テーマ(予定)

1. Overview and Introduction to Occupational and Environmental Health
2. Environmental and Occupational Study Designs
3. Health Effects of Air Pollution
4. Environmental Study Critique
5. Health Effects of the Built Environment
6. Health Effects of Climate Change
7. Healthy Worker Effect in Occupational Health Studies
8. Occupational Study Critique

ハーバード T.H.Chan
公衆衛生大学院
Jaime Hart 准教授

医療経済学 1月12日(月)~15日(木) 9:00~12:15



オックスフォード大学
ヘルスエコノミクス
研究センター所長
Alastair Gray 教授

医療・介護における資源配分と意思決定を改善するための経済学の活用を専門とし、英国における費用効果分析の権威の一人。臨床医学研究の分野では、精神医学、脳神経外科、高齢者ケアなど多岐にわたる領域で医療経済的評価に関する多くの成果を報告している。著書 *Applied Methods of Cost-effectiveness Analysis in Healthcare* は、費用効果分析研究に実践的な内容が盛り込まれ、初学者にも理解しやすいことで知られる。

講義テーマ(予定)

1. Economics, health and health economics
2. Applying economic tools to health and health care
3. Costs
4. Cost of illness and burden of disease
5. Measuring and valuing quality of life
6. Disease modelling and decision models
7. Using cost-effectiveness analysis to set priorities
8. Using cost-effectiveness to make reimbursement decisions : the example of NICE in the UK

社会疫学 1月16日(金)~19日(月) 9:00~12:15

ニュージーランドのオタゴ大学医学部卒業、同大学博士課程修了後、1992年よりハーバード大学に在籍して教鞭をとる。2008~2018年にはハーバード公衆衛生大学院の社会行動科学学科長も務めた。専門は社会疫学であり、バークマン教授との共著、*Social Epidemiology* (Oxford University Press, 2000, 2014 2nd ed.)は、社会疫学の世界的教科書になっている。



講義テーマ(予定)

1. Introduction
2. Socio-economic status and Health
3. Income inequality
4. Social Supports and Social Networks
5. Neighborhood Contexts
6. Social capital
7. Work and Health
8. Behavioral Economics and Health

ハーバード T.H.Chan

公衆衛生大学院

イチロー・カワチ教授

疫学 1月17日(土)~20日(火) 13:05~16:20*

* 17日:14:00~17:15
20日:午前開催



ハーバード大学公衆衛生大学院教授。Beth Israel Deaconess Medical Center の教員も務める。専門は疫学で、特に大気汚染や気候変動などの環境要因が心血管疾患に及ぼす影響を研究している。その他主な業績として、運動、ストレス、アルコール摂取などの生活習慣と急性心筋梗塞リスクの関連について重要な論文を発表、研究成果は多くの国際的な学術誌で引用され、世界的に高く評価されている。

ハーバード T.H.Chan

公衆衛生大学院

Murray Mittleman 教授

講義テーマ(予定)

1. Lecture: Measures of disease frequency and association
2. Seminar: Measures of disease frequency and association
3. Lecture: Study design overview and cohort studies
4. Seminar: Cohort study critique
5. Lecture: Exchangeability and Confounding
6. Lecture: Effect measure modification
7. Lecture: Case-control study design
8. Seminar: Case-control critique



過去の特別講義の様子 期間中は、参加者交流会や、最終日の修了証授与式なども行われます。